

# 生 活 の 力

SHINGON

〔特集〕

## お正月だからこそ考えよう

### ―亡き人を安心して送り・供養するために③

### 年回忌法要―

Vol. 99

真言宗智山派



弘法大師 空海  
ご誕生 1250年  
令和5年(2023年)

仏さまに祈り 仏さまと出会う

目次

- 今日の法語 伊東永人……………2
- 智山寺院探訪 如意山福生院……………3
- 特集 お正月だからこそ考えよう……………6
- お大師さまとご信仰 田村宗英……………10
- 教えは伝わる  
一真言八祖解説一 別所弘淳……………11
- 図解・仏教ガイド 「マンガでわかる十三仏の  
え・悟東あすか……………12
- ゆーけいの写仏をするよろこび  
牧 宥恵……………14
- 日本の四季を切り取る十七文字  
星野高士……………15
- 総本山の便りをお知らせします……………16
- らせんのなかのブツガヤ 中嶋亮順……………18
- ごくらくらくご 三遊亭竜楽……………19
- 御詠歌で綴る十善戒の教え  
佐々木真光……………20
- 読者アンケートから・おしらせ・編集後記……………22
- 真言宗智山派出版物のご案内……………23
- 桃山の息吹に触れる 安原成美……………24
- お大師さまのご生涯  
一お大師さまカルター 川崎一洗・三船毅志……………26
- 花に聞く 仏に聞く 佐々木隆元……………28
- 仏教と妖怪 今井秀和……………29
- 私のお大師さま  
ビジュアルで読む現代的性霊集 feat.Rieko 内藤理恵子……………30
- ご本尊さまと出会う  
小笠原隆浩・黒川広志……………31

● 仏教について	● 仏教と文化
● わたしたちの生活と仏教	● お知らせ

表紙「雪晴れの富士山」山梨県山中湖村

前日降った雪が木々の枝にも着雪して、あたり一面が白く雪化粧した朝です。空は沈むほどに青く、まさに雪晴れ。青と白とのコントラストが強い景色は静謐で、晴れ晴れとした雄姿の富士山を見ていることがとても幸せに感じました。

表2「紅梅と雪」東京都国立市

早咲きの梅が咲く梅園に雪が降りました。凍えるような寒さの中でも梅の花は凛としています。そんな花の姿に心打たれ、背景を単調にして梅の花の力強さを表現しようと撮影に臨むと、雪が梅の背後を白い線を残して流れてゆきました。 撮影・解説／新海良夫



# 心 佛

困っている人を手助けし、喜んでもらったときは大変嬉しいものです。他者のために、分け隔てなく思いやる慈悲のころを「ほとけごころ」といいます。

仏教では、本来すべての人に「ほとけごころ」が備わっていると説きます。

我々に備わっている「ほとけごころ」を自覚し、その佛心を大切に生活していきたいものです。

今日の法語「佛心」

伊東永人いとら えいじん  
(栃木県宇都宮市・持寶院住職)



名古屋市の中心地、ビル街の中に突如現れる福生院の山門。街のパワースポットとして多くの人々の信仰を集めています。

東海地方の梅雨明けが発表された翌日の七月二十九日。炎天下の中、名古屋駅に降り立ちました。手羽先、ひつまぶし、みそカツ、きしめん、えびふりや〜…と、名古屋には数多くの美味しいグルメが。何を食べたかは



### 智山寺院探訪

なごや七福神めぐり(毘沙門天)  
東海三十六不動尊霊場第十二番札所  
名古屋二十一大師霊場第五番札所  
大名古屋十二支霊場(亥年阿弥陀如来札所)

愛知県名古屋市

## 如意山 福生院

(通称：袋町お聖天)

秘密ですが、カメラマンと昼食を済ませ、地下鉄桜通線で二駅、丸の内駅へ。戦後は日本三大繊維問屋街として栄えた長者町通りから袋町通りへと、商店が立ち並ぶビル街を駅から五分ほど歩くと、突如、大聖歎喜天と書かれた大きな幟旗と、赤い重層な山門が目飛び込んできます。山門の左右、狛犬の台座に彫られた大根と巾着は何？ と疑問に感じながら、境内に足を踏み入れると、そこは四方八方、どこを向いても仏さまと出会える、曼荼羅のような心静まる場所でした。

### 袋町お聖天さま

お聖天さま(「ししょうてん」ではなく「ししょうてん」と読みます)をご存じですか。正式には大聖歎喜双身天王などと呼ばれ、



四方八方どこを向いても仏さま、神さまに見守られたようなつくりの境内は、隅々まで掃除がいきとどいていることもあり、とても清々しい気持ちになります。

私たちのどんな願いも叶えてくださり、私たちに歡ばせ、ともに喜んでくださる仏さまです。二度信仰すれば、いかに宿縁の薄い因縁の悪い人でも、皆ごとごとく願望を満たし、般若苦与楽・転貧与福の大利益をこうむる」とお経にあり、大名や豪商家から熱心に信仰されてきた歴史があります。現在でも大成功、富貴栄達をされた方がたくさんいらっしゃいます。

待乳山聖天(東京都台東区本龍院)、生駒聖天(奈良県生駒市宝山寺)、妻沼聖天(埼玉県熊谷市歎喜院)の日本三大聖天(諸説あり)にも引けを取らない、今名古屋で一番のパワースポット



中央の丸い厨子の中にお聖天さまが、奥の厨子にはお聖天さまの本地仏である十一面観音さまが祀られています。吊り灯籠も巾着の形で素敵ですね。

として親しまれている袋町お聖天さま、如意山福生院を訪れました。

福生院は南北朝時代の至徳三年（一三六六）現愛知県あま市蜂須賀の蓮華寺第五世順誉上人がお聖天さまを勧請（かんじよう）ご分身などをお迎えすることし、現名古屋市中村区に堂宇（どうう）を建立されたことに始まります。その後、清洲城下の名古屋移転（きよす）（清洲越し）にともない元和三年（二六一七）現在の地に移り、「袋町のお聖天さま」として隆盛します。しかし、昭和二十年



福生院のご本尊さまは薬師如来と伝わっています。聖天堂内の向かって右脇に鎮座されています。

三月、名古屋は大空襲に見舞われ、伽藍（がらん）全てを焼失。当時の松平實亮（まつだいらじつりょう）住職が、お聖天さまだけは何が何でも助けなければと胸に抱き避難（ひなん）をされたことにより、今に伝わっています。

ですが、そのお聖天さまのお姿を私たちは拝見（げんけん）することができません。お聖天さまはその験力（げんりき）があまりに強く秘仏（ひぶつ）なのです。ヒンドゥー教のガネーシャという、象の頭をした神さまがもととなっており、象頭人身（ぞうとうにんしん）の夫婦抱き合った姿をされています。カメラマンは、お聖天さまをもしかしたら撮影（さつえい）できるかもと期待（きたい）していたようですが、その夢ばかりは叶（かな）いませんでした。

## 疑問に感じた大根・巾着とは

「お聖天さまの住む山中には油池（あぶらいけ）があり、その周囲に蘿蔔根（らふこん）、吉祥菓（きつじょうか）、美酒（めいしゅ）等が置かれ、この池に浴（ゆ）され、これらを食（た）し、歡喜遊戯（くわんぎゆうぎ）している」とお経（おきん）にあります。

お聖天さまへは、蘿蔔根（らふこん）（大根に似た食物で、大根よりも細くて辛味が強い）の代用として大根。吉祥菓（きつじょうか）として、お聖天さまが人々に与える福（ふく）が納（な）められている宝袋（たまご）（巾着）の形をしたお菓子（お菓子）（お団・歡喜団（くわんぎだん））。そしてお酒（おしゅ）をお供（ご）えします。ですから、屋根瓦（やねわ）をはじめ境内（けいん）の至（いた）る所に大根（だいこん）や巾着（きんちやく）が飾（か）られています。隠（かく）れミツキー（mitsukiyee）ではありませんが、こんな所に！ と思（おも）



東海三十六不動尊靈場 十一番札所の不動明王（ふどうめいおう）さまです。もと信州上田城（じょう）の守護尊（しゆごそん）として祀（まつ）られていたお不動（ふどう）さまで、お聖天（せいてん）さまに縁（ゆかり）ある方々（かたがた）をお守（まも）りするために戦後復興事業（せんごふきんじぎょう）に賛同（さんどう）された長野県東御市（とうごし）の長久寺（ながひさでら）さまより遷座（せんざ）されました。不動堂（ふどうどう）では毎月二十八日（ごご）にお護摩修行（ごましゆぎょう）が行（か）われます。



唯一戦禍を逃れたのが、お聖天さまと、この手水鉢だそうです。手水舎の屋根が落ち覆いかぶさっていたことにより焼けずに済んだそうです。

## お聖天さま曼荼羅

東海三十六不動尊十二番札所のお不動さま、名古屋十二支霊場の亥年阿弥陀如来さま始め十二支の各守り本尊さま、名古屋二十一大師霊場の出世大師さま、なごや七福神の毘沙門天さま、福生院ご本尊薬師如来さま、ぼけ封じ観音さま、十二面観音さま、出世天神、秋葉権現、お稻荷さま……。境内、堂内ではたくさんのお仏さまにお会いでき、まさにお聖天さまを中心にした曼荼羅世界が広がっています。そしてご住職始め寺庭婦人(住職婦人)さまが、優しく迎え入れてくれます。取



中興第二十二世 松平實城 住職  
「お聖天さまはどんな願いも必ず叶えてくれます。ですから自分のことだけでなく、皆さんのこと、未来の幸せ、全ての生き物たちの無事を祈ってください」と熱く語られていました。

材時も参詣者一人一人に気配りをされながら対応されているお姿に、生き仏さまにまみえたような気がしました。袋町お聖天さまはまさに曼荼羅。たくさんのお仏さまに出会えます。たくさん祈っていただき、たくさんのお仏さまから生きる力を授かってください。

(智山教化センター所員/上村正雄 撮影/竹本りか)

うような場所にも大根や巾着が飾られておりますので、ぜひ探してみてください。  
そして油池に浴されるといことから、お聖天さまの御頭に聖油をおかけして祈る、浴油祈禱という、お聖天さまから選ばれし僧侶しか修法することのできない、最も優れた秘法があります。袋町お聖天さまでは正月・五月・九月のそれぞれ一日から七日間行われています。是非その期間にご参拝・ご祈禱してください。また、お正月の年越し詣りには甘酒のご接待もいただけるそうです。



### 出世天神と秋葉大権現

この出世天神は豊臣秀吉が信仰されていた天神さまと伝わり、天下統一を果たされたのもこの天神さまのおかげともいわれ、参拝者が絶えません。



### ACCESS アクセス

#### 如意山 福生院

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦二丁目5-22

Tel 052-231-5261

地下鉄桜通線 丸の内駅 5番出口より徒歩3分

地下鉄東山線、鶴舞線 伏見駅 1番出口より徒歩5分

特集

# お正月 だからこそ 考えよう

—亡き人を安心して送り・供養するために③ 年回忌法要—

正月飾りのひとつ、門松。お正月を迎えるにあたり、家々の門前に飾る門松は、一説には歳神さまの依代よりしろともされています。

写真提供 / PIXTA

## 自身を振り返るお正月

三十一年続いた平成の世は四月に終わり、五月から新たに令和の時代を迎えました。そして、元号が令和になってから初めて迎えるお正月。みなさまは、去りゆく一年をどのように過ごし、また新たな一年をどのように迎えますでしょうか。

新しい年を目前に控えた大晦日おおみそか。どこからか聞こえてくる除夜の鐘じよやかねの響きは、心を清らかにしてくれます。煩惱ぼんのうを除くとされる除夜の鐘を聞きながら、ご自身の一年間を振り返ってみてください。むやみに誰かを傷つかなかったでしょうか。嘘をついたり、乱暴な言葉を使ったりしなかったでしょうか。欲張ったり、やたらと怒ったりしなかったでしょうか。そして、亡き人や先祖さまに、感謝の心をもって手を合わせることでできたでしょうか。自身の行いを振り返ることで、心を改め、新たな気持ちで新年をお迎えいただきたいものです。

お雑煮、お節せちに、お年玉とお祝いづくしのお正月ですが、このような歌があるのはご存知でしょうか。

—門松は 冥土みやどの旅の 一里塚

めでたくもあり めでたくもなし—

これは「一休さん」として馴染み深い室町時代の僧侶、一休宗純いっしゅうそうじゆんが詠んだとされる歌で

す。私たちはこの世に生を受けたその日を誕生日としてお祝いしますが、かつては数え年で年齢を数えていました。そのため、新年を迎えると皆が一斉に一つ歳をとることから、お正月には家族や友人とお祝いをしたともいいます。※「新年」の定義は、旧暦、新暦などにより変わります。その一方、この歌ではお正月に飾られる門松を、街道に一里（約四キロメートル）ごとに築かれた一里塚に喩え、新年を迎えて門松を立てるたびにまた一つずつ歳をとり、少しずつですが着実に寿命に近づくと

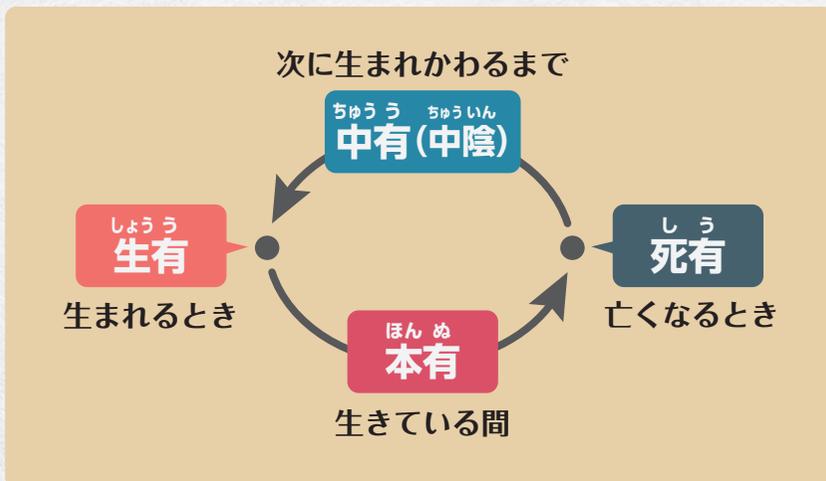
とを詠んでいます。この歌にも象徴されるように人の一生はしばしば旅に喩えられ、亡き人の行く先も「死出の旅路」と、形容されます。地域の風習によっても違いはありますが、いまでも亡き人を棺に納めるとき、杖や手甲・脚絆などを着けた旅支度をするのはこのためです。この装束には、亡き人が無事に仏さまの元へと辿り着くことを願う気持ちが込められているのでしょう。

### 仏さまの世界への旅立ち

もしも大切な人をなくしたとき、亡き人の行く末が少しでも安らかであってほしいと願うのは当然のことだと思えます。一連の葬送儀礼では、お盆号（九十七号）でご紹介した「枕経・通夜」、そして秋彼岸号（九十八号）でご説明した「葬儀」によって、亡き人を安らかならしめ、仏さまの世界への旅立ちを見送ります。それでは、亡くなられた人はどのようにして仏さまの世界への旅路を行く

のでしょうか。

仏教の生まれた古代インドでは、人は生まれ変わりを繰り返すと考え、それを四つに分けました。生まれるときを「生有」といい、生きている間を「本有」といいます。そして亡くなる時を「死有」、次に生まれ変わるまでを「中有（中陰）」といいます。葬儀を終えたあと、七七忌（四十九日忌）を迎えるま



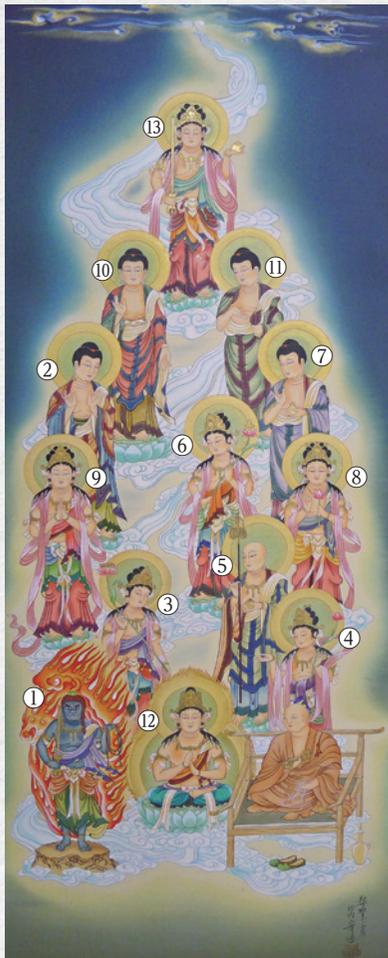
四有 古代インドにおける人の生まれ変わりを表しています。



一休宗純 (1394-1481) 室町時代の臨済宗大徳寺派僧侶。その姿はアニメ「一休さん」のイメージとはかなり違った印象です。枠にとらわれない自由な発想の持ち主といわれており、門松の歌にも見えるように、人とは違った目線で物事をとらえ、気づきを与えていたのかもしれない。

一休和尚像 (部分) 東京国立博物館蔵  
Image : TNM Image Archives

許可なき複製を禁じます



十三仏さま（弘法大師御影入り） 画／牧宥恵

※十三仏図にはさまざまな体裁のものがあります。

亡き人は仏さまの世界へと旅立ち、十三仏さまにまみえ、仏さまより徳を授かります。遺族が法事を営むことで、さらにその徳が増します。その善行は回忌によって追加されていくので、法事を「追善供養」（追福修善の供養）といえます。そして亡き人は思い上げの後にご先祖さまとなり、皆さんをお守りする存在となっていくのです。

葬儀を終え、中陰の期間中は、主に家庭のお仏壇とは別に亡き人の冥福を祈る「中陰壇」を飾ります。忌日は初七日に始まり、七七日（四十九日）まで、七日ごとにやってきます。地域によっては各忌日に僧侶を招き法要を行うところもありますが、この七日ごとの忌日には、ご自身でも『智山勤行式』を一心にお唱えし、亡き人に感謝の心を捧げましょう。さらには亡き人を思い浮かべながら忌日や回忌ごとに『般若心経』などを写経し、また回忌にあたる十三仏のお姿を写し、法要の際に奉納することも供養に

## 十三仏

仏・菩薩	回忌
①不動明王	初七日忌
②釈迦如来	二七日忌
③文殊菩薩	三七日忌
④普賢菩薩	四七日忌
⑤地藏菩薩	五七日忌
⑥弥勒菩薩	六七日忌
⑦薬師如来	七七日忌
⑧観世音菩薩	百箇日忌
⑨勢至菩薩	一周忌
⑩阿弥陀如来	三回忌
⑪阿閼如来	七回忌
⑫大日如来	十三回忌
⑬虚空藏菩薩	三十三回忌

## 十三の仏さまに見守られて

ではこの中陰の期間にあたるとされ、七日ごとに供養が行われてきました。悲しみに暮れながらも、慌ただしく過ぎていく通夜・葬儀も終わり、この中陰の間は、改めて亡き人をゆっくりと想い偲ぶことができる大切な期間となることでしょう。

仏さまの世界へと旅立った亡き人は中陰の期間、初七日から七日ごとに七尊の仏さまの

元を訪ねます。そして、亡くなられて百日後の百箇日、一年後の一周忌、二年後の三回忌、そして七回忌、十三回忌、三十三回忌と、六尊の仏さまを巡ります。これら十三の仏さまに見守られながら仏さまの世界へと赴きます。

この十三の仏さまを「十三仏」といい、初七日忌の不動明王や三回忌の阿弥陀如来、十三回忌には大日如来が名を連ねています。亡き人はこれらの十三仏を順番に巡り、それぞれの仏さまの徳を授かっていくのです。

一周忌を終えると一年後に三回忌を迎え、七回忌、十三回忌と間隔を空けながら年回忌は続けられていきます。大切な人を亡くした直後には悲嘆に暮れていても、中陰から年回忌へと供養を重ねることにいつしかその悲しみも和らぎ、新たな一歩を踏み出すことができるかもしれません。回忌を重ね仏さまの元へとたどり着いた亡き人は、やがてご先祖さまとなっていきます。ご先祖さまとなりゆく亡き人のためにも、感謝の心をもって供養し続けていくことが大切なのではないでしょうか。

## 感謝の心で供養を続けよう

つながります。

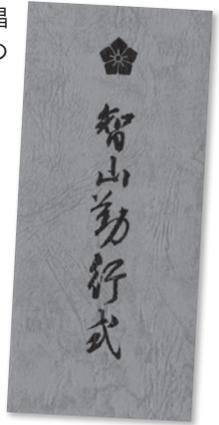
また、ご自宅で供養するだけではなく、四国八十八ヶ所霊場や、西国、坂東三十三ヶ所の観音霊場などを、亡き人の供養のためにお参りすることもできます。一度に全ての霊場を巡らざとも、時間をかけて回忌の度に少しずつ巡っても供養になります。お遍路さんの菅笠には、「同行一人」という言葉が書かれています。これはお大師さまに見守られながら、一緒に巡礼することを示しています。亡き人が仏さまの世界へと赴く旅路も決して一人ではありません。多くの仏さまに見守られるとともに、この世に残された私たちも感謝の心をもって供養をすることでその旅を支えているのです。

### 十三仏写仏手本セット 1,000円



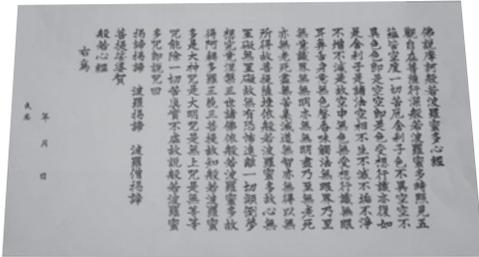
写真は  
初七日忌ご本尊  
不動明王

### 智山勤行式



真言宗智山派檀信徒がお唱えする經典。日頃のお仏壇のお勤めにもどうぞ。  
並製 40円 上製 90円

### 般若心経写経セット 1,000円

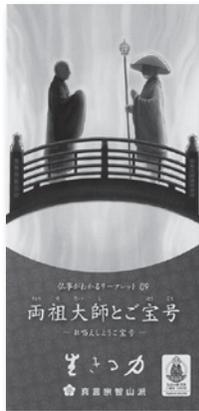


写経用紙 (20枚入り)  
※大文字版・なぞり版も  
ございます。

### 仏事がわかるリーフレット 各30円



Vol.10  
感謝の心と葬儀



Vol.9  
両祖大師とご宝号



Vol.7  
お彼岸とお墓参り



Vol.6  
お戒名ってなに?



Vol.5  
光明真言

今号で触れた内容に関する一部資料です。さらに詳しく知りたい方はP23の出版係までお問い合わせください。

# 令和2年カレンダー発行のお知らせ



令和2年のカレンダーを2種類  
ご用意いたしました。  
ぜひご利用ください。  
(各1部100円)  
お問い合わせは本誌P.23出版係まで



ポスター  
カレンダー(B2版)  
「千手観音像」

令和2年の守り本尊である  
千手観音のお姿を、  
智積院寺宝の掛け軸を使用して  
作成したカレンダー。

柱かけカレンダー  
「今月の法語」

弘法大師空海さまの著作  
『即身成仏義』の中にある  
法語を選び、月ごとにお大  
師さまの教えに触れる柱か  
けカレンダー。玄関やお部  
屋の柱などにかけてお使い  
ください。

## 京都 総本山智積院

〒605-0951 京都市東山区東大路七条下ル東瓦町964  
TEL: 075-541-5361 FAX: 075-541-5364



令和5年(2023)は、弘法大師空海さまがお生まれにな  
って1250年にあたる記念の年です。

頃開業の予定です。  
智積院会館は、令和2年6月  
を休止しております。新しい  
智積院会館は、令和2年6月  
より宿泊利用並びに会館利用  
のため、平成30年12月13日(木)  
宿坊 智積院会館は、新築工事

写経のじいじ  
毎月21日 13時より  
於 智積院金堂地下ホール  
納経料 千円  
智積院阿字観会  
毎月12日 14時より(受付13時より)  
※8月と12月は8日 14時より  
於 智積院金堂地下ホール  
(参加灯明料五百円・要事前申込)

## 東京 総本山智積院別院 真福寺

〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-8  
TEL: 03-3431-1081 FAX: 03-3431-0203

愛宕薬師フォーラム(無料)  
12月16日(月) 14時より  
「お大師さまが出会った仏教」  
公益財団法人中村元東方研究所  
専任研究員/吉村均先生

真福寺阿字観会  
1月16日 三遊亭  
2月20日 談志一門会  
1月28日(火)  
2月25日(火)  
於 本堂(無料・要事前申込)

やすらぎ寄席  
毎月第3木曜日 18時30分より  
於 本堂(木戸銭千五百円)  
12月19日 三遊亭  
1月16日 三遊亭  
2月20日 談志一門会  
愛宕薬師ご縁日(毎月8日)  
※8日が土日祝の際は第一金曜日  
・大護摩供法要 12時より  
・写経会(納経料千円) 14時より  
12月6日(金)  
1月8日(水)  
※新春大護摩供法要 11時30分より  
2月7日(金)

Facebook



智積院

検索